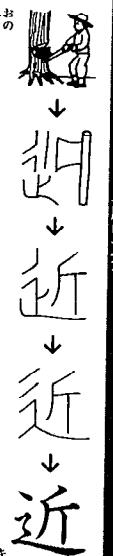


# 近

二年  
画数 7  
筆順 ノ フ キン  
オソ  
ワニ  
ちかいい

成り立ち



斧のかたちをあらわし、木をさる音をあらわす「斤」と、「道を進む」いみの「辻」とを組み合わせてつくりました。道を進んでいて、木をさる音をきくことをあらわしたものです。木をきっている人のすがたは見えませんが、その音で、「ちかい」ところにいることがわかります。それで、「ちかい」といういみをあらわしたのです。

「ばしょが近い」ことから「ときが近い」と、「かんけいが近い」ことなどにつかれています。

また、「近づく」こと。

# 兄

三年  
画数 5  
筆順 一 口 戸 兄  
オン クシ  
キヨウ・ケイ  
あに

成り立ち



人の形をあらわした「儿」と「口」とを組み合わせて作った字です。「口」がたつしやな「人」といういみの字で、子どもの中で一番先に生まれて、弟や妹たちのせわをする「口のたつしやな」「あに」をあらわした字です。兄は「口の人」だとおぼえてください。

「キヨウは異音で、『兄弟』のように、昔から使われている言葉に使われ、新しい言葉は、『父兄会』『実兄』などのようにケイといいう漢音で読む。

「儿」は「人脚」と呼ばれるが、この「脚」は「扁旁冠脚」の脚であって、文字を上下に分解した時の下の部分の称である。「人の脚」を表したものではなくて、「人そのもの」を表した部首であることに注意する。」

▽近・近のうちに、わたしの近親のものが、この近所にひっこしてきます。

▽たいふうが接近してきたので、近海に出ていた船は付近のみなどにひなんをはじめました。

▽近・近のうちに、わたしの近親のものが、この近所にひっこしてきます。

▽近・近のうちに、わたしの近親のものが、この近所にひっこしてきます。